GitHubのアカウント作成と Git CUIのセットアップ (Mac)

Hack U Project



事前準備 1 GitHub のアカウント作成



Git と Github

Git	バージョン管理の方式
	(バージョン管理とは、いつ、誰が、どのファ
	イルを、どう変更したかを記録すること)
GitHub	Gitでバージョン管理をしやすくする
	Webサービス
	ブラウザから変更履歴やコードを共
	有するのがかんたんにできる

Git を使うには

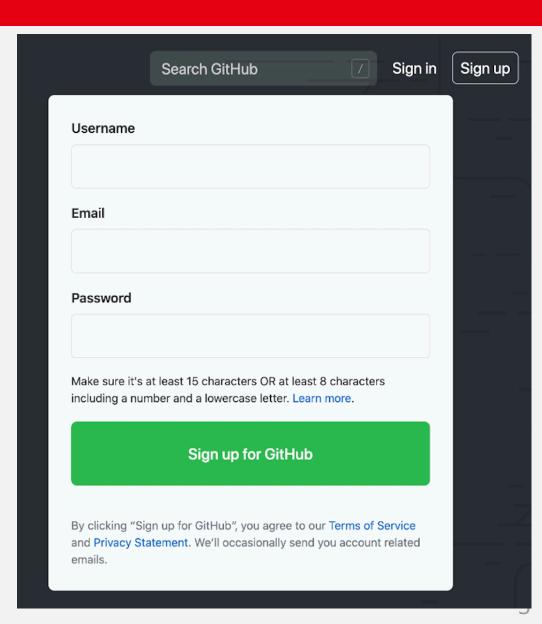
- コマンドラインでGitコマンドを使う
- GUIツールを使う

今回はコマンドラインで Gitコマンド を使います

Github のアカウントを作る

- 右上のSign upをクリック
 - https://github.com
- ・必要事項を記入する
 - アカウント名
 - ・メールアドレス
 - ・パスワード

アカウント名は公開されます



Github のアカウントを作る

- 認証
- Welcome to GitHub
 - 仕事は何か
 - どのくらいプログラミンができるか
 - 何のためにGitHubを使うか
 - 興味があるもの
- メールを確認 "Verify email address" でアクセス

Github のアカウントを確認する

- ・プロフィールページにアクセス
 - https://github.com/アカウント名

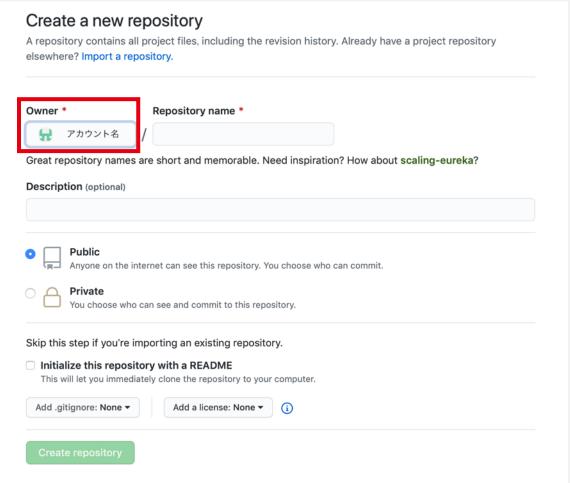
アカウント作成されていない場合、404になります

7

リポジトリを作る

Create repositoryをクリック

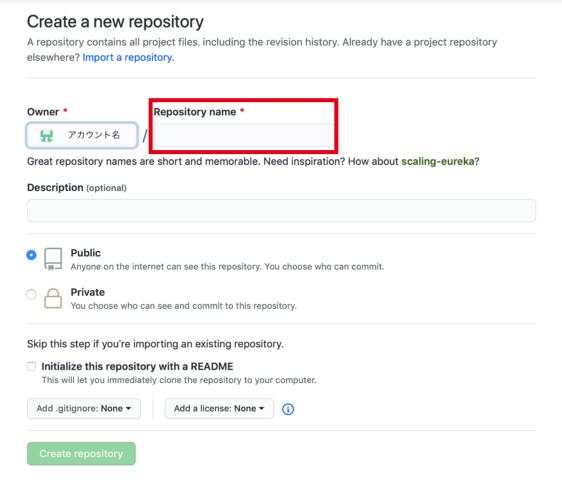
Owner には先程作った アカウント名が入る



リポジトリを作る

Create repositoryをクリック

Owner には先程作った アカウント名が入る



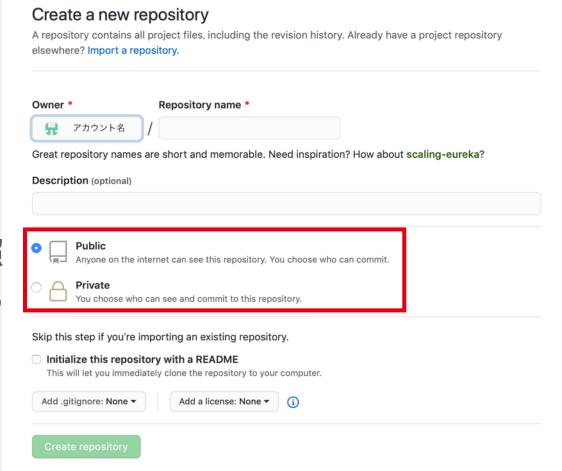
「github_ws」 というリポジトリ名で 作りましょう

リポジトリを作る

Create repositoryをクリック

Owner には先程作った アカウント名が入る

リポジトリを誰でも参照 可能にするかを設定する (今回は public)



「github_ws」 というリポジトリ名で

作りましょう

事前準備 2 Git CUI のセットアップ

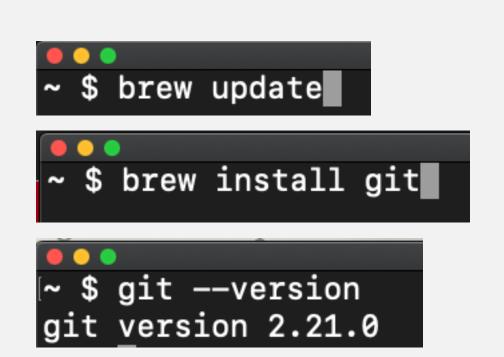


Git CUIのインストール

brewを使って最新のgitをインストールします。

(brewを入れていない場合はインストールしてください。ここではやり方は省略します)

- ターミナルを開く
- 「brew update」実行
- 「brew install git」実行
- 「git --version」で確認



Git CUIの初期設定

ユーザー名とメールアドレスを登録する (これはGit上での区別に使われるもののため、必ずしも GitHubと合わせる必要はありません。

- 「git config --global user.email "メールアドレス"」で メールアドレスを登録

- \$ git config --global user.email "メールアドレス"

事前準備 3

演習準備



ローカルリポジトリの作成

• Git の機能の一つ clone を使って、GitHub で作成したリポジトリをローカルにコピーします

• 各Gitの機能やリポジトリについては演習の資料で解説します

15

ローカルリポジトリの作成

- 適当なディレクトリに移動して、
- 「git clone https://github.com/ユーザー名 /github_ws.git」

```
●●●
~ $ git clone https://github.com/ユーザー名/github_ws.git
```

• 「git」や「workspace」などのディレクトリ下に cloneするとリポジトリが管理しやすいです

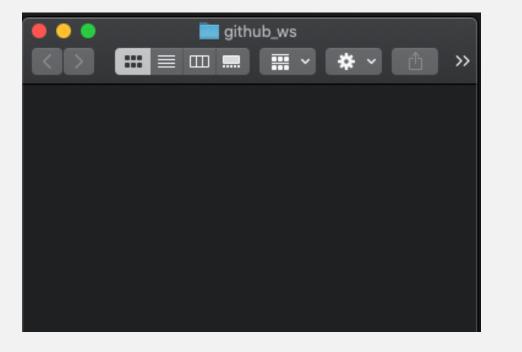
ローカルリポジトリの作成

 Finderでcloneしてきたディレクトリを開き、空の ディレクトリができていることを確認 (エディターなどを使っている場合はそれで確認

してもOKです)

「open github_ws」Finderで開くコマンド





17

演習ファイルの準備

- GitHub の Search or jump to … から「hackujp/github_tutorial」を検索
- リポジトリ内の ver_CUI/hands-on.zip を開く
 - Download ボタンよりダウンロード
- hands-on.zip を解凍

18

演習ファイルの準備

- 先程開いたローカルリポジトリに展開したファイルを移動させる
- 移動させる対象は以下の通り
 - index.html
 - Src



事前準備 4 GitHubへの疎通確認



GitHubへの疎通確認

- GitHub に演習ファイルをアップロードして疎通 確認を行います
- Git の基本操作 add/commit/push を使用します

GitHubへの疎通確認 (add)

「git status」で追加した演習ファイルが表示されていることを確認してください。

```
~/github/github_ws $ git status
On branch master
Your branch is up to date with 'origin/master'.

Untracked files:
    (use "git add <file>..." to include in what will be committed)

    index.html
    src/

nothing added to commit but untracked files present (use "git add" to track)
```

GitHubへの疎通確認 (add)

• 「git add .」(最後にピリオドが必要です)で addされます。「git status」でnew fileとして表示されることを確認してください

```
[~/github/github_ws $ git add .
[~/github/github_ws $ git status
On branch master
Your branch is up to date with 'origin/master'.

Changes to be committed:
   (use "git reset HEAD <file>..." to unstage)

   new file: index.html
   new file: src/index.js
   new file: src/styles.css
```

GitHubへの疎通確認(commit)

- 「git commit -m "<任意のメッセージ>"」
- でコミットされます。
- 3つのファイルが表示されることを確認してください。

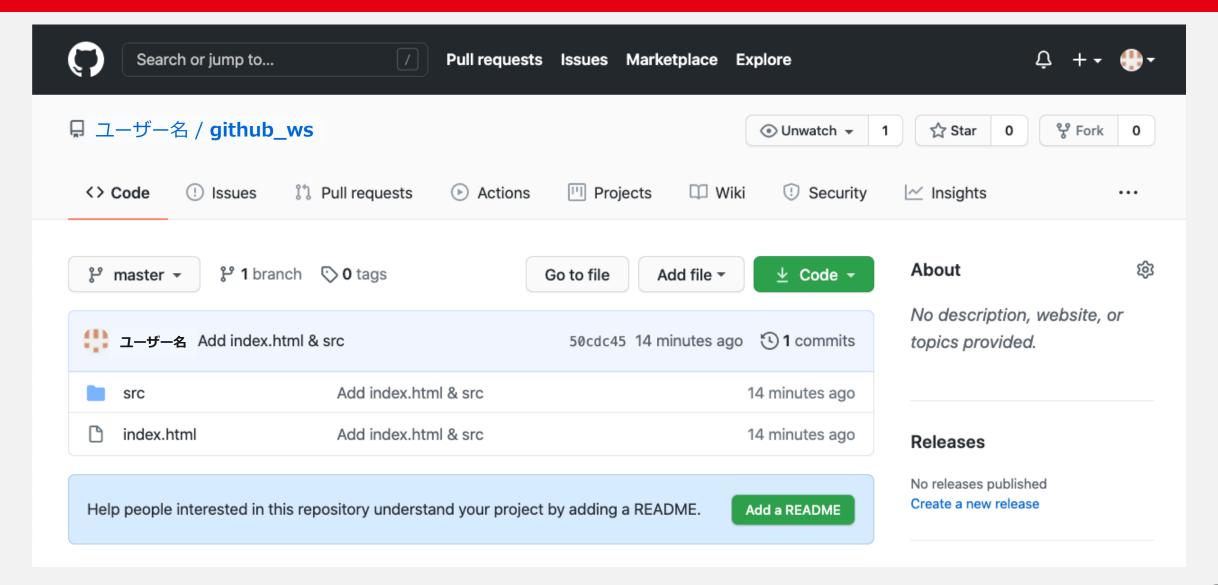
```
[~/github/github_ws $ git commit -m "first commit"
[master d55fbdf] first commit
  3 files changed, 50 insertions(+)
  create mode 100644 index.html
  create mode 100644 src/index.js
  create mode 100644 src/styles.css
```

GitHubへの疎通確認(push)

- 「git push origin master」でpushします (ブランチがmainの場合はmaster -> main。 commit時の表示を確認してください)
- Githubのユーザー名とパスワードを入力する必要があります。
 - ~/github/github_ws \$ git push origin master

25

GitHub に反映されているか確認



Pushがうまくいかない時①

- ネットワークの問題
 - 学校のWifiなどを使用していると、ネットワークの設定で制限がかけられ、Pushができない場合があります。
 - 別のネットワークやスマホのテザリングなどで再度試して みましょう

事前準備は以上となります お疲れさまでした

